

池上謙二 いけがみ けんじ 哲學者、文學博士。明治二十三年十一月十一日長野縣松本生れ、昭和二十一年一月二十九日歿（九〇一五六）。大正十四年東京帝國大學文學部哲學科卒。昭和二十年同大教授。新カント派哲學の研究紹介に努めた。

譯書、ライネチハ著『現象學の成就』（昭和二年十一月）二十日岩波書店「哲學論叢」）、トワルドウスキー著『所謂相對性真理の成就』（昭和二年十一月）二十日岩波書店「哲學論叢」）、ブレンターノ著『哲學の四段階と斯學の現状』（昭和五年六月五日岩波書店「哲學論叢」）、フツセル著『純粹現象學及現象學的哲學考案』全二冊（上・昭和十四年二月一日、下・十六年十月七日岩波書店「岩波文庫」）等。著書、『文化哲學基礎論』（昭和十四年十一月五日岩波書店）、『現代哲學』（昭和十五年八月）二十日日本放送出版協會「ラヂオ新書」）、『知識哲學原理』（昭和二十一年六月十日岩波書店）、『哲學的思想の地盤』（昭和二十四年十一月）二十日秀文館）、『言葉と生活』（合著・西尾実論、昭和二十年十一月）二十五日毎日新聞社「毎日文ライブラリー」）、『杜の工業論文』（合著・東京大学学生新聞会公論、昭和二十一年十一月）二十日同文館）等。